

子どもケミネット、JEPA共催学習会

ネオニコチノイド系農薬 最新研究

浸透性ネオニコチノイド系殺虫剤は、低濃度でも、蜜蜂を含む昆虫類、淡水魚類、鳥類や生態系に重大なダメージを及ぼすことがわかってきました。さらにヒトにも低濃度で影響が見られることがわかってきました。

平久美子先生は、約20年前に群馬県で起こったネオニコチノイド曝露によるヒトの亜急性中毒について、青山美子医師とともに、取り組まれてきました。さらにヒトへの影響について、多くの研究論文を発表されてきています。

平野哲史先生は、神戸大学・星信彦教授とともに、げっ歯類を用いた実験系で、ネオニコチノイドを含む浸透性農薬などが脳神経系、免疫系、生殖系などに悪影響を及ぼすことを明らかにし、多数の学術論文を報告されています。

子どもたちを守るために、今私たちができることを一緒に考えましょう。

3月2日(日)

13:00開場

13:30 開始 16:30終了

場所/アットビジネスセンター

池袋駅前 別館705号室東京都豊

島区東池袋1-6-4 伊藤ビル

池袋駅(東口)より徒歩30秒

参加費: 無料

会場とオンラインの同時開催

参加申込/会場参加はメールで

Kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp



ウェビナー参加は
QRコードまたは
下記URLより
ご登録を

<https://x.gd/nUZ4j>

平久美子氏

Dr.Kumiko Taira

講演タイトル

静かな化学物質汚染—低濃度
ネオニコチノイドの健康影響

東京女子医科大学・附属足立
医療センター・麻酔科非常勤
嘱託、ネオニコチノイド研究会
代表



平野哲史氏

Dr.Tetsushi Hirano

講演タイトル

化学物質の神経毒性試験に関
する問題点とネオニコチノイ
ドが中枢神経系に及ぼす影響

富山大学 学術研究部 薬学・和
漢系、助教



共催: 有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議(JEPA)

事務局: 〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F JEPA内

■本件に関するお問い合わせは kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp または03-5875-5410

「子どもケミネット」は、有害化学物質から子どもを守るために、国内外の最新研究を学び、

立法・行政に対し必要な規制などを提言するため、2023年4月に

市民団体・生活協同組合・有志の個人が集まり結成されました。

このセミナーは2024年度地球環境基金の助成を受けて開催されます。